

定期総会講話

演題 「モンゴル国ア・ラ・カルト」
— 伝統的行事三題 —

講師 エルデネビレグ・ウヤンガさん

講師紹介

ウランバートルの人文大学「日本語通訳・観光クラス」で本格的に日本語を勉強。大学卒業後、観光会社に就職。信大教育学部大学院修了。長野市在住。モンゴル語・日本語通訳。モンゴル旅行アドバイザー。

モンゴルの各家庭で行われる代表的な伝統行事である「新年式」、「結婚式」、「断髪式」について紹介します。

新年の儀式

新年は「ツアガン・サル」といい旧暦の元旦に日の出とともに起き晴れ着に着替え、家長に年令順に挨拶をする。家長は挨拶を返しテープの蒸し焼きをそぎ取り手渡し、それを仏壇に供えてから全員



でこ馳走を食べて祝う。その後、年長者、主婦や幼児は残り、男たちや若者は親戚や近所へ年始の回りを

結婚式

結婚式までに婚約

結納の儀式があり、披露宴は自宅という風習があるが、近年は欧米化して、家族、



披露宴はホテルで、二次会は若者だけでディスコパーティと年々費用をかけた豪華になっている。

断髪式

男の子が二歳、女の子は三歳になると親戚縁者が集まって行う行事。こ馳走はまず先に乳製品から召し上がる。最初に父親が祖父が入れる仕草をして始まる。出席者の



中の長老から順に子供の髪に髪を入れ、お祝いの言葉を唱え、贈り物をする。子供は一人前の人間となったとして、全員でお祝いをする。



親戚と宮殿で結婚式をし、婚姻届を提出。列席者の前で結婚を誓う、指輪を交換して、家族全員で杯を挙げる。

やんごとん関連だよ

モンゴルってどんなところ?

— 長野市立加茂小学校の研究授業 —
同校3年B組が取り上げたモンゴル研究の授業に参加。6月23日(木)、モンゴルの伝統的民族衣装や馬頭琴、B・Bを所持。生徒に「見せて、着せて、聞かせて」の学習を応援した。



モンゴルについて学び、思いを寄せる

担任 稲垣 修一先生

「学級だより」12号 6/25から

23日(水)長野県モンゴル親善協会の西澤さんに協力いただき、モンゴルについて学習しました。らくだと共に暮らすモンゴルの遊牧民一家に密着したドキュメンタリー映画『らくだの涙』や現地撮影された写真を見ながら、「衣食住」の観点からお話をさせていただきました。また、2年生の国語で学習した『スーホの白い馬』に出てきた馬頭琴の本物(しかも横綱白旗のサイン入り!)を演奏していただきました。お話しの後には、モンゴルの伝統衣装を試着したり、馬頭琴を演奏したりと、貴重な体験をしました。

うえた国際交流フェスタへ参加

10月30日(土) 上田市公民館で開催のモンゴルブースへ、上田市在住のモンゴル人の応援をいただき出展。モンゴルの民族衣装、馬頭琴、民芸品等を展示。

モンゴルレポート

モンゴルの田舎風景の激変

信大を卒業して帰った留学生からの便りによると、「ふるさと」の風景の激変に悩んでいる。大きな湖や河が干上がった。井戸水の出が悪く、庭に作ったおじいちゃんのにいすハウスは枯れてしまった」という。こんな話はあちこちで聞くと書いてあった。

砂漠化防止策と緑化推進

国は緊急の課題として砂漠化防止プロジェクトを立ち上げ推進している。砂漠化の要因は多岐に亘り、家畜の過放牧、無計画な森林伐採、不適切な放牧地の農地転換等の要因によるところが大きい。これらの人為的起因を住民参加のもとハード面のみならず教育カリキュラムに取り入れるなど取るべき対策を策定している。国際的な資金援助も受け、牧草地の近代的管理、森林再生、都市の公園緑化・並木整備等その効果は着実に上がっている。

(文責 事務局 西澤 寛)

お知らせ

事務所を左記に移転しました。

事務所 〒380-0838

長野市東町532-13 労働会館内

TEL・FAX

026-2335-6717

http://w2avis.ne.jp/~mongol

連絡は携帯090-1828-5056

(西澤 寛)へお願いします。